

案件化調査：水の浄化・水処理分野

カンボジア メコン川流域諸国におけるPOU浄水システム普及に向けた案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：日研株式会社・株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング共同企業体
- 提案企業所在地：神奈川県・東京都
- サイト・C/P機関：ラタナキリ州、IPHA (Indigenous People's Health Association)

カンボジアの開発課題

- 安全な水へのアクセス(カンボジアで現在安全な水にアクセス出来るのは人口の64%、ラタナキリ州では22%)
- 水由来の疾患の多発
- 頻繁な洪水の発生

中小企業の技術・製品

- 日研が開発したクリンカ205は、砂状の、二酸化ケイ素、ケイ酸アルミニウム、銀、銅、ケイ砂より成る殺菌剤
- 水1Lに対し25gを直接投入し、3-6時間浸水させることで水中の大腸菌、黄色ブドウ球菌、レジオネラ等を殺菌

提案されたODA事業及び期待される効果

- 草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じ、現地パートナーであるIPHAと共働で、クリンカ205を使用した小規模社会起業家／コミュニティ型給水システム構築する。カンボジアでも最も安全な水へのアクセス率の低いラタナキリ州の人口の30%(約5万人)の安全な水へのアクセス確保が期待出来る。
- 国際緊急援助隊の緊急時の支援物資の一品としてクリンカ205を導入し、洪水や地震等の災害時に安全な水の提供を図る。

日本の中小企業のビジネス展開

- 緊急支援・洪水対策用品としてのビジネス展開
- 現地のNGOや社会企業家への販売
- 水タンク会社等、現地企業への販売拡大

